

自由民主党衆議院議員水野賢一殿
公明党衆議院議員田端正広殿
民主党衆議院議員岡田克也殿
社民党参議院議員福島みずほ殿
日本共産党衆議院議員笠井亮殿

2008年5月20日

岡田泰幸（おかだやすのぶ）

〒168-0081 東京都杉並区宮前5丁目9番18号

Tel/Fax : 03 (3334) 8600、Email : ysokada@attglobal.net

地球温暖化阻止対策としての軍事部門に関する提言

各位には日頃から国民の代表として政務にご精励の段、国民のひとりとして感謝申し上げます。去る5月16日、憲政記念館で開催されたシンポジウム「温暖化防止への政治と市民の役割を考える」を傍聴させていただき、温暖化対策としての軍事部門に関する意見を申し述べた岡田泰幸と申します。当日は地球温暖化という、世界の全人類が等しく直面する今世紀最大の共通課題に、主義主張を超えて参集され、国を挙げ世界を挙げた対応が必要であるとの、一致した方向でのご見解を披瀝されたことを大変心強く思うものです。

席上申し上げましたが、私は43年間に及んだ実業生活を終えた後、環境問題、SR問題に関する研究活動に従事して8年になります。この間に、生まれ育った杉並の地域社会で温暖化対応の省エネルギー、ゴミ処理、レジ袋有料化等の環境問題や、児童・生徒の環境学習のあり方について、地域市民グループの皆さんと活動をともしてきました。

将来の持続可能な社会を担っていく人材を、物心ついたときからサステイナブルな学習環境、生活環境で育成し、ごく自然にサステイナビリティを身につけた若者達を社会に送出していくことではじめて、本当の持続可能社会が実現するとの思いで活動しております。

このような活動のなかで、家庭、学校、オフィス、店舗の細かい省エネ努力の積み上げを支援しながら、常に疑問に思っていたことが軍事部門の温室効果ガス問題でした。現在国をあげて推進しつつある温室効果ガス排出削減の対象は、産業、業務、運輸、家庭の4部門ですが、軍事部門の温室効果ガスのデータはあるのか？それは上記の4部門とどんな位置関係にあるのか？排出削減はどうなっているのか？まだ軍事部門は手付かずになっているとしたら、日々温暖化防止のために細かな省エネ努力をしている他の部門と比較して、おそらくかなりの排出量を伴うであろう軍事部門だけが、データ把握すらされずに、聖域として残されていることはきわめて不自然であると思います。

先日のシンポジウムで、党派を超えて温暖化の危機感を訴えられた各位のお話を聞きながら、この地球の危機、全人類の危機に臨んで、軍事部門だけを聖域にすることは許されないと強く感じる次第です。このままでは2050年の半減目標の達成は到底不可能です。

日本は、戦争、武器使用の廃絶を自国の憲法で明記する世界で唯一の平和国家として、軍事部門のデータを各国が把握し、その削減を通して温暖化阻止の観点から「戦争と武器

使用の廃絶」を進めることを世界に訴えるべきだと思います。私は、7月の洞爺湖サミットで、このことを日本政府が世界に提唱することを求めるネット署名運動を始めました。サミットまでに集まった署名を添えて、内閣総理大臣、日本政府、各政党に、省エネ活動に全力をあげつつある国民の声としてお届けしたく思います。先のシンポジウムの席上では、各位から主義主張を超えて、軍事部門の温暖化ガスのデータ把握の必要性を認める意見があり、国会での審議対象にしたいとの見解もいただきました。ぜひ国会の場で審議テーマに取上げて、サミットに臨む日本の温暖化問題についての基本姿勢に反映していただきたく期待するものです。

日本の提唱により、世界の国々で軍事部門の温室効果ガスデータの把握が始まり、削減が進むようであれば、その地球温暖化阻止と世界平和に与える影響はきわめて大きいと信じます。日本はこれまでも平和国家として、国連の場などで世界の軍縮を率先して推進してまいりましたが、世界で唯一の平和憲法のもとにある日本が、その固有の立場で世界をリードすることに、正面きって反対できる国はないと思います。

現在始めている署名運動はまだ始めたばかりであり、ひとつのステップとしては洞爺湖サミットを念頭に置きますが、サミット終了後も継続し、ひとりでも多くの賛同者を集めて、日本からの世界への呼びかけを、多くの賛同者で支えていければと念じております。

持続可能な地球と将来の我々人類の子孫のために、日本の国政を担われる政治家各位と国民が一体になって、聖域のない温暖化阻止活動の推進を国際的に呼びかけていくことを目指して、国政の場での党派を超えた活動を心から期待するものであります。

署名集めは、ネットを通して行なっておりますが、以下の手順でご覧になれます。

(手順)

ネットで「ユナイテッドピープル」検索 ⇒ 「署名 TV」クリック ⇒ 「呼びかけ一覧」もしくは「環境」クリック ⇒ 「地球温暖化阻止のための軍事部門による戦争・武器使用廃絶の呼びかけ」(企画者岡田泰幸)クリック ⇒ 呼びかけ内容と署名欄を見ることができます。
